
令和2年度
子どもの見守り研修会

令和2年10月26日（月）19：00～20：30

金沢歌劇座



金沢市民生委員児童委員協議会



社会福祉法人金沢市社会福祉協議会

令和2年度金沢市民生委員児童委員協議会 子どもの見守り研修会

1. 趣旨 少子化や核家族化の進行に伴い、子育て家庭が地域から孤立し、育児不安や児童虐待、不登校、非行等、こどもを取り巻く問題は多様化してきています。
- 本研修会では、これらの問題への理解を深め、地域における子ども・子育て家庭の見守り活動に生かします。

2. 日程

時 間	内 容
19:00	開会・オリエンテーション テーマ「子ども・子育てに関する社会資源と民生委員児童委員」
19:00～ (20分)	(1)「心の絆サポーター（スクールソーシャルワーカー）について」 発表：金沢市教育委員会学校指導課 指導主事 林 耕次 氏
19:20～ (20分)	(2)「子どもの虐待防止ネットワーク石川の活動について」 発表：NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク石川 副代表 西村 真実子 氏
19:40～ (20分)	(3)「ハッピーペアレントサロン石川の活動等について」 発表：ハッピーペアレントサロン石川 助産師 あねざき しょうこ 氏
20:00～ (20分)	(4)「金沢市子どもソーシャルワーカーについて」 発表：金沢市福祉局こども未来部子育て支援課 主査 三瀬 まりの 氏
20:20～ (10分)	質疑応答
20:30	閉会

心の絆サポーターについて

金沢市教育委員会学校指導課

本日の内容

1. 心の絆サポーターの活動について
2. 民生委員児童委員・主任児童委員と協力・連携したいこと

1. 心の絆サポーターの活動について

1. 心の絆サポーターの活動について

(1) 目的

家庭訪問や関係機関への連絡調整等、広域的に対応できる人材を配置し、対応の充実を図る。

1. 心の絆サポーターの活動について

(2) 対象

- ・ 非行・怠学傾向の不登校児童生徒
- ・ 家庭と連絡が取りにくい不登校児童生徒
- ・ 虐待・ネグレクト傾向が見られる児童生徒

1. 心の絆サポーターの活動について

(3) 職務

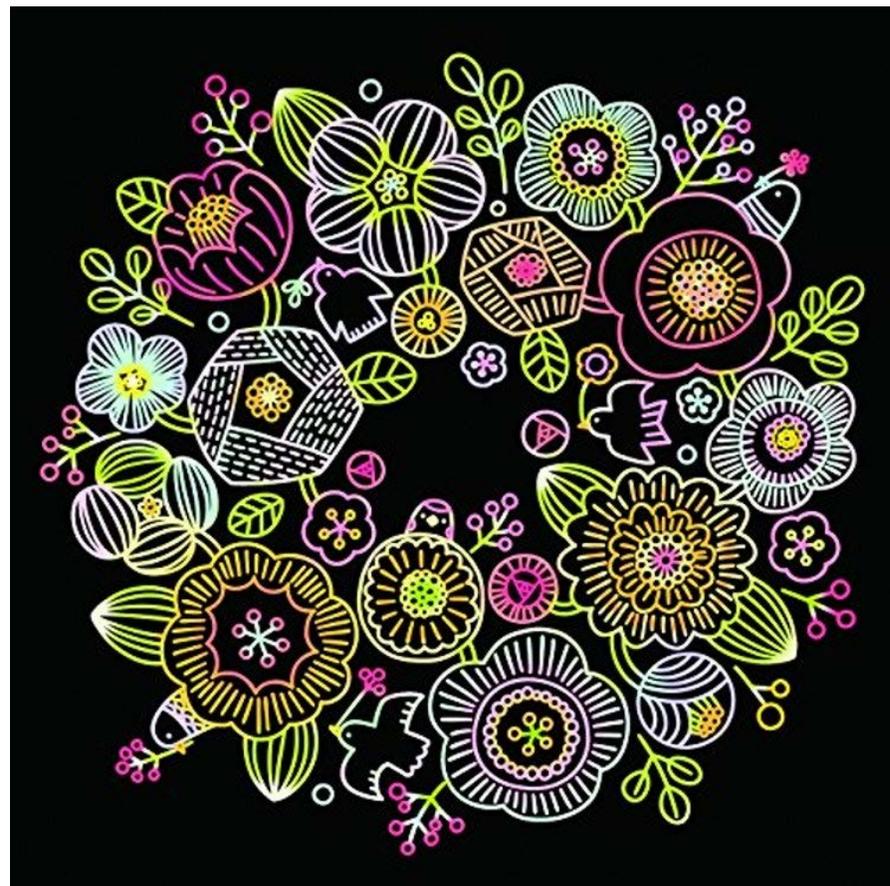
- ① 当該児童生徒への関わりと学校復帰への支援
- ② 当該児童生徒の保護者への支援
- ③ 関係機関への仲介及び連携

1. 心の絆サポーターの活動について

(3) 職務

①当該児童生徒への関わりと学校復帰への支援

- ・一緒にゲームや創作活動を行う。
- ・話す。
- ・学習支援を行う。
- ・一緒に登校する。
- ・手紙を書く。



1. 心の絆サポーターの活動について

(3) 職務

②当該児童生徒の保護者への支援

- ・ 保護者のケアを行う。

1. 心の絆サポーターの活動について

(3) 職務

③関係機関との仲介及び連携

- ・ 家庭の状況に応じて必要な機関へつなげる。
(生活支援課、子育て支援課、児童相談所など)

学校へ復帰した後は・・・

すぐに教室に入れない児童生徒のために
→心と学びの支援員など

教室に入れるようになった後も
→特別支援教育支援員など

2. 民生委員児童委員・主任児童委員と
協力・連携したいこと

2. 民生委員児童委員・主任児童委員と協力・連携したいこと

地域の力を

- ・ 学校や心の絆サポーターの家庭訪問をしても様子がわからない家庭について

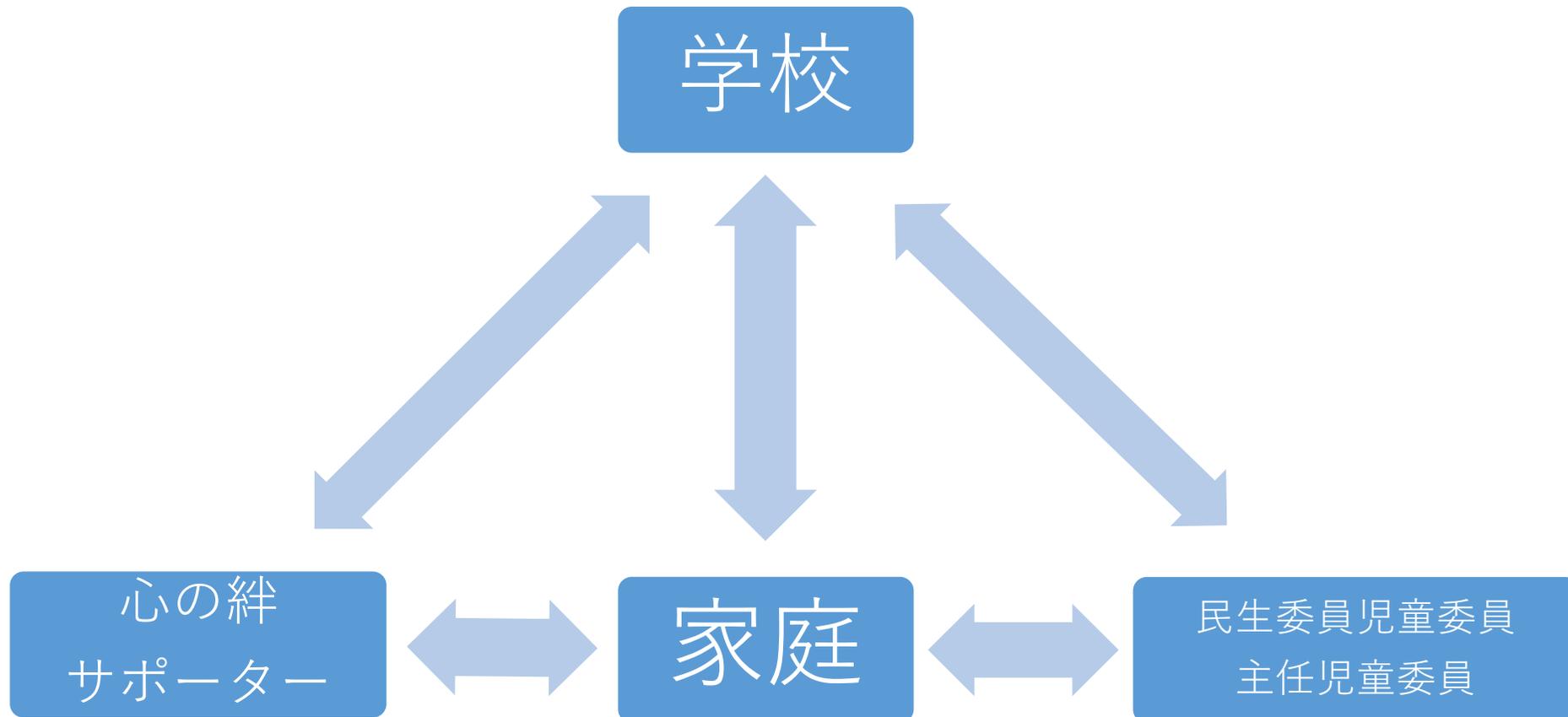
2. 民生委員児童委員・主任児童委員と協力・連携したいこと

地域の力を

- ・ 子どもが家庭内で暴れ、暴力をふるう
家庭に対して

2. 民生委員児童委員・主任児童委員と協力・連携したいこと

学校を中心に



2. 民生委員児童委員・主任児童委員と協力・連携したいこと

協力 = 強力

「子どもの虐待防止ネットワーク石川の活動について」

発表：NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク石川
副代表 西村 真実子 氏

令和2年度子どもの見守り研修会

NPO法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川
(CHILD ABUSE PREVENTION NETWORK;
CAPNET キャブネット石川)

2020年10月26日 (月)
金沢歌劇座2階大集会室

西村真実子
(キャブネット石川副代表/石川県立看護大学)

キャブネット石川のあゆみ

- ◎ 2000年4月～2001年3月「虐待に悩む親と子を支援する会」
 - ・金沢市中央児童相談所「子どもの虐待を考える会」に参加していた有志による声かけ
 - ・老人保健施設「なでしこの丘」の全面協力
日本看護協会「まちの保健室事業」助成金
 - ・子どもの虐待ほっとライン 毎週土曜日10時～16時
- ◎ 2001年4月「子どもの虐待防止ネットワーク石川」(改名)
 - ・子どもの虐待ほっとライン 木・土曜日10時～16時
 - ・2001年6月 MCG(Mother and Child Group;母と子の関係を考える会) 2回/月
 - ・2004年6月 出前ほっとミーティング
- ◎ 2007年 NPO法人となる
 - ・2008年 子育て・虐待予防ほっとラインに改名

子ども虐待の認知から予防への動き

- 1960代 殴打された子ども症候群(C. H. Kempe)の概念の紹介
- 1990 児童虐待防止協会(大阪)
- 1991 子どもの虐待防止センター(東京)
- 1996 日本子どもの虐待防止研究会

子ども虐待への関心の高まり 全国各地で民間団体が設立

- 2000 児童虐待防止法
- 2001 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律

虐待予防の子育て支援の充実へ(少子化対策)

- 2004・2008 児童虐待防止法及び児童福祉法の改正

**地域ネットワーク要保護児童対策協議会)が動き始めた
虐待の発生予防・未然予防に重点が置かれるようになる**

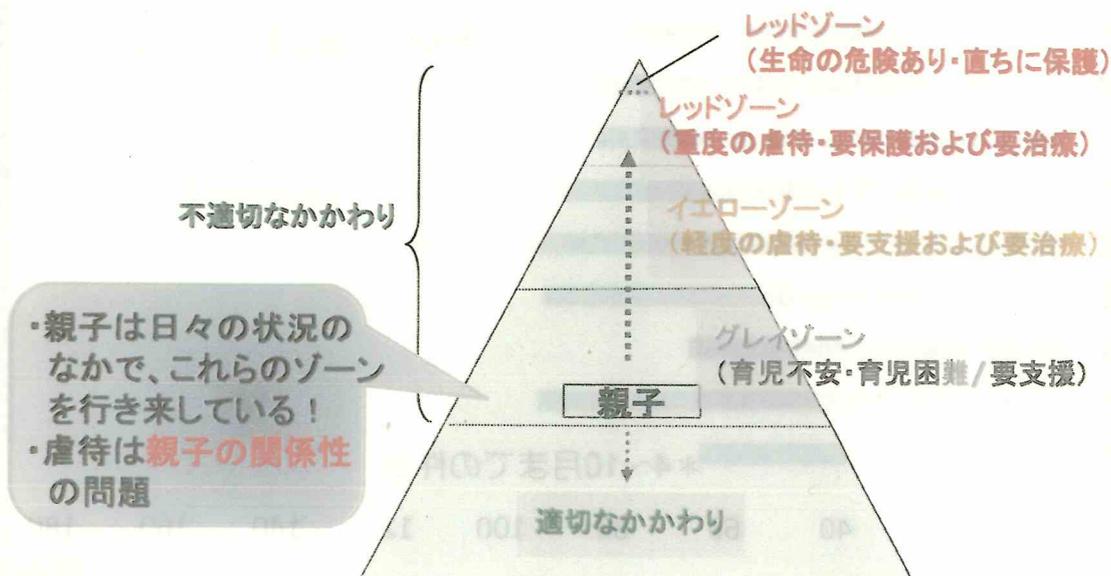
子ども虐待の取り組みの 辿る段階と否認(Krugman R;1994)

- ・ 虐待の存在を無視する(虐待という問題の否認)
- ・ 身体的虐待に気付く
- ・ 子どもを親から保護しようと法や制度を整備する
- ・ 親も被虐待児であったとわかり、支援の対象者として見直しされる
- ・ 性的虐待の存在に気づく
- ・ 分離介入の法整備だけでは何も解決せず、治療も難しいとわかり、予防こそ重要だと気づく

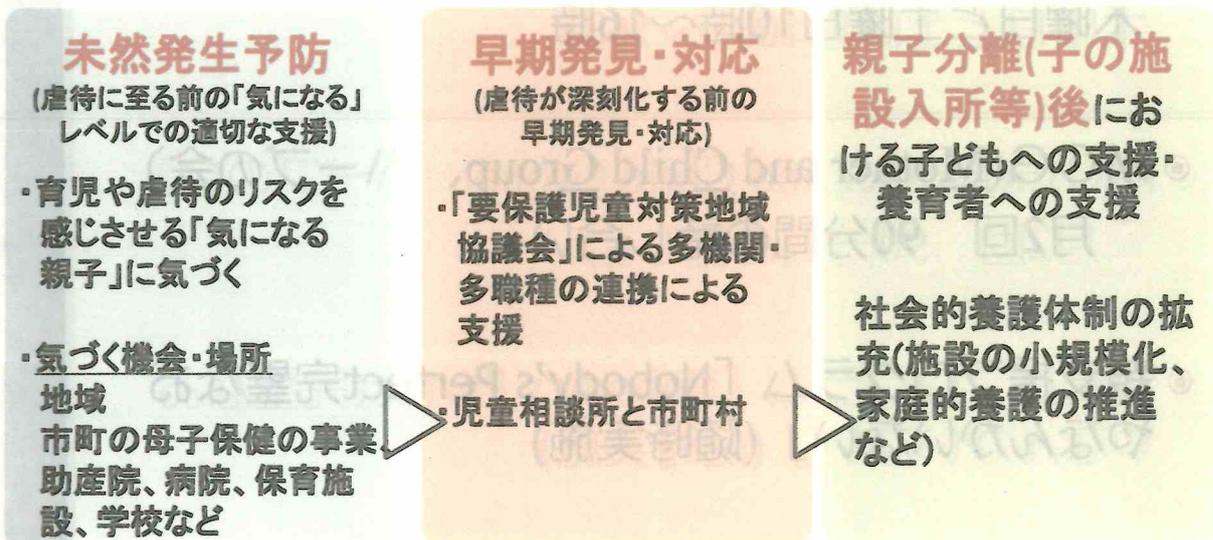
キャブネット石川の主な事業

- 子育て・虐待防止ほっとライン（電話相談）
木曜日と土曜日10時～16時
- MCG(Mother and Child Group、ハーブの会)
月2回 90分間の話し合い
- 親支援プログラム「Nobody's Perfect完璧なおやなんかない」(随時実施)
- 子どもの虐待予防に関する啓発及び推進事業

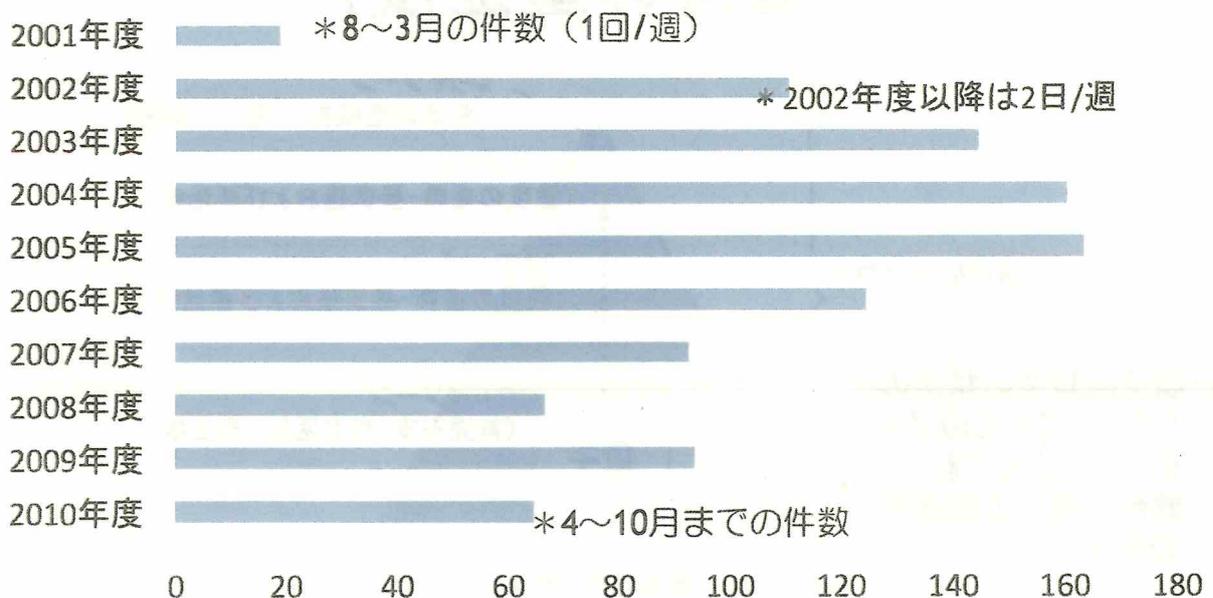
親子の関わりの健康度 (虐待の重症度)



子どもの虐待予防の局面



子育て・虐待防止ほっとラインの相談件数



- ・相談者のほとんどが育児困難や虐待に悩む母親
- ・最近の傾向：新規相談、近隣からの虐待通報が増えている

ほっとライン相談者の精神状態の訴え

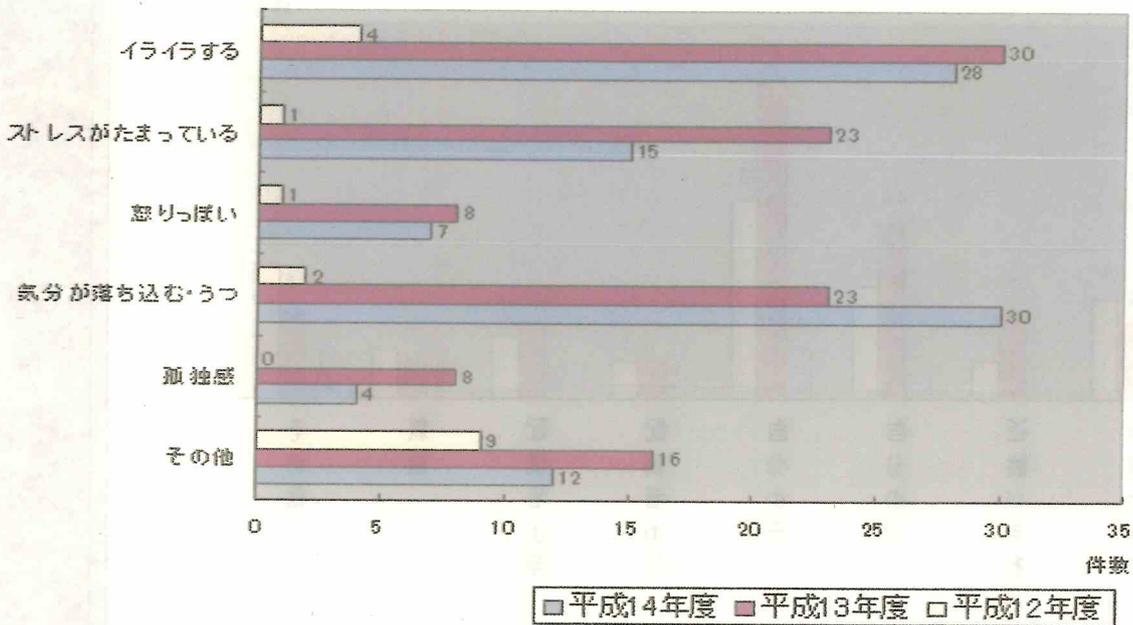


図9 相談者の精神状態訴えの内容

相談者が自分自身についてどう語っているか（自己像）

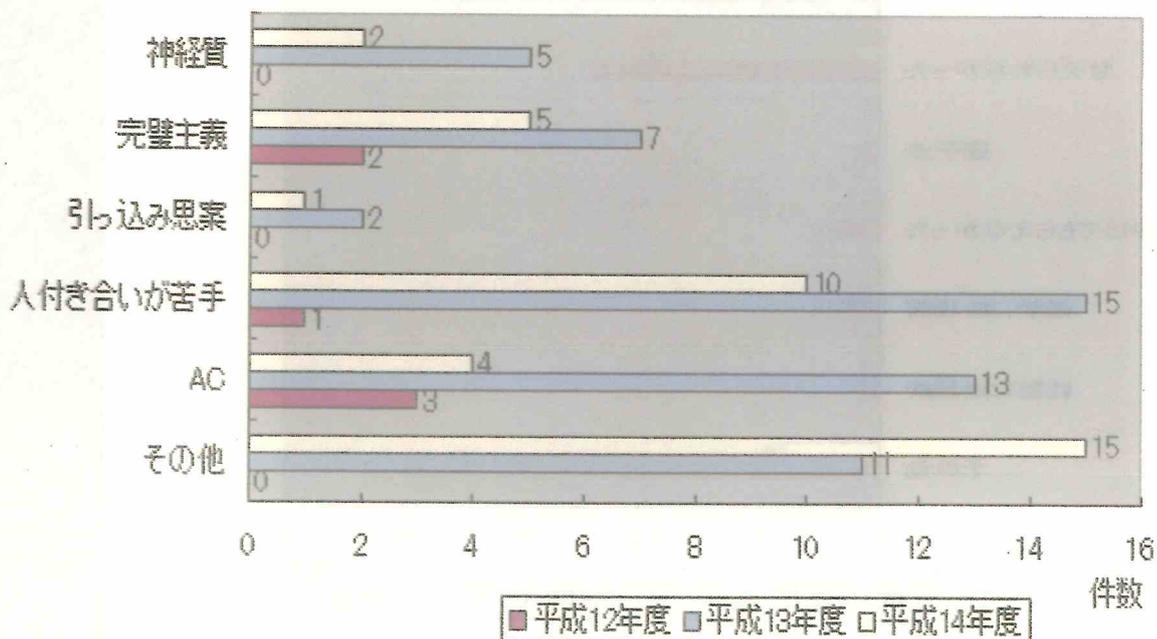


図10 相談者の自己像

相談者の社会関係の悩み

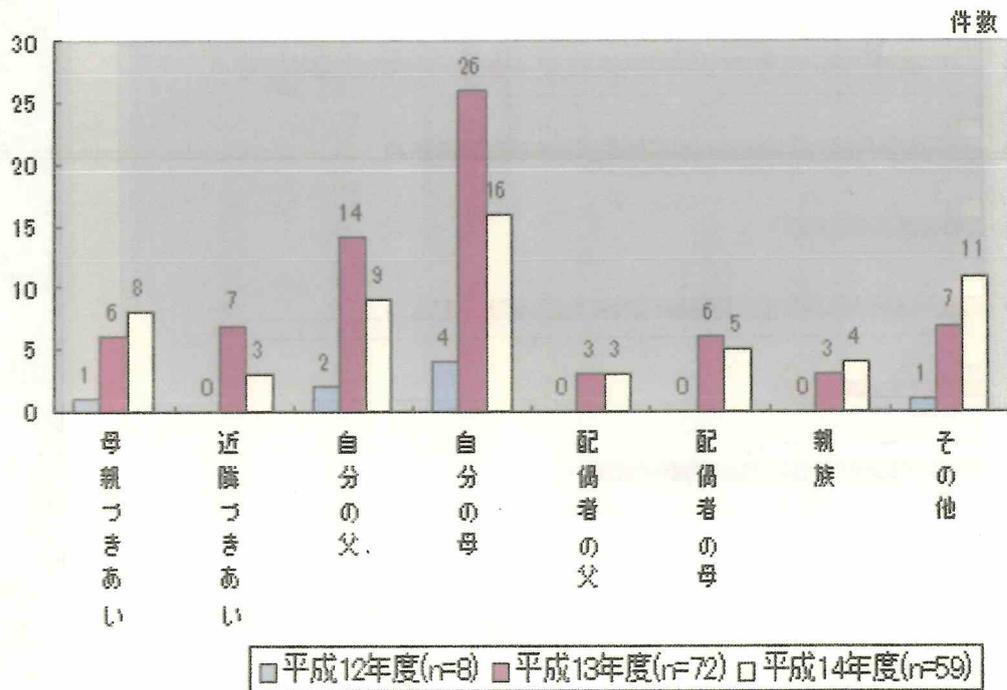


図11 相談者の社会関係の訴え

相談者の親への感情

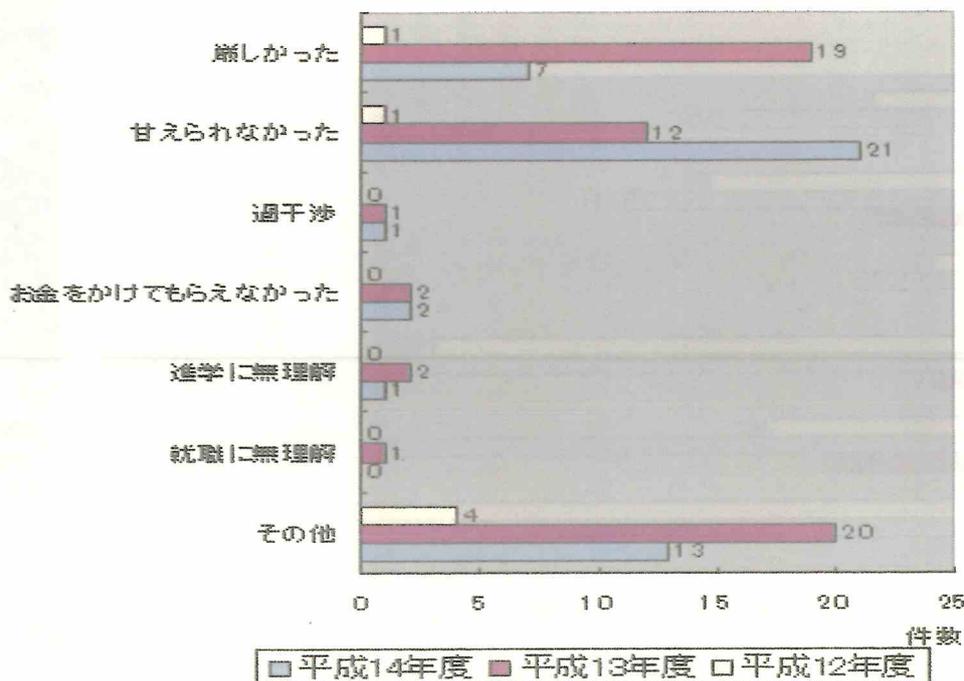


図7 親に対するネガティブな感情や評価

ハーブの会

◎ **対象者**

ほっとラインで自分の親との関係や子ども時代の傷付き経験を語られた方
育児困難や虐待の悩みをもつ方

◎ **めざしていること**

虐待や育児困難、わが子への否定的な感情、人間関係・親子関係の悩み等
についてオープンに話し聴き合うことができる「安心できる人間関係」づ
くりと「安心できる場所」の提供

◎ **テーマ**

傷付き体験のグリーフワーク、人間関係の悩み

◎ **グループの進め方**

言いはなし聞きばなし ファシリテーター2名

◎ **日程**

1回90分間 2回/月(木曜と土曜の午後)

◎ **グループ以外でも**

参加者とファシリテーターがほっとライン等で接触

★近年の実績

参加者数 1~4人/回

体罰等によらない子育てのための工夫のポイント

体罰等によらない子育てにしたいという思いがある状況や理由によって、それが難しいと感じられることもありますが、一方で、安心感や信頼感、温かな関係が心地よいのは、子どもも大人も同じです。子どもとの関わり方の一例をご紹介します。

POINT 01 子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう

●親子に自分の気持ちや考えを伝えようとするという経験によって、子どもは、気持ちや考えを伝えよう、大切にされていると感じることがあります。

●子どもに聞いてあげるとしたら、時間をとって、どうしたらよいかを一緒に考えましょう。



POINT 02 「言うことを聞かない」にもいろいろあります

●親の望むとおりに行動しない、子どもが言うことを聞かない、思っていることを子どもが表現できていない、行動が遅いなど、さまざまです。

●「イヤだ」というのは、子どもの気持ちです。こうした感情を持つことは悪いことではないです。親は、子どもの気持ちに寄り添ってあげることが大切です。



POINT 03 子どもの成長・発達によっても異なることがあります

●子どもの年齢や成長・発達の状態によって、できることが変わってきます。また、大人に思われていることが実際ではないこともあります。

●子ども自身が成長を感じているときは、それに合わせたケアを考えた対応しましょう。



POINT 04 子どもの状況に応じて、身の周りの環境を整えてみましょう

●乳幼児の場合は、決まらぬものに触れないようにするなど、危ないことへの環境づくりも心がけましょう。

●子どもが思った行動をする機会、子ども自身が持っていることがあります。子どもが自分でできるような環境づくりも工夫しましょう。



POINT 05 保護者自身のポイント

●自分の気持ちや考えを伝えることは、子どもにとっても大切なことです。自分の気持ちや考えを伝えることは、子どもにとっても大切なことです。

POINT 06 注意の方向を変えたり、子どものやる気に働きかけてみましょう

●子どもはすぐに気持ちを切り替えるのが難しいことがあります。積極的に言葉をかけたり褒めたりすることで、子どものやる気を引き出すことができます。

●子どもがやる気になったり、集中力が高まったりすることで、子どものやる気が増すような環境を整えてみましょう。



POINT 07 肯定文でわかりやすく、時には一緒に、お手本に

●子どもに伝えるときは、「ここは歩いてね」など、肯定文で伝えることが大切です。また、一緒に歩くことで、子どもが安心して歩けるようになります。

●「一緒に歩こうね」といって、一緒に歩くと、子どもが安心して歩けるようになります。



POINT 08 食いこと、できていることを具体的に褒めましょう

●子どもの高い達成感や自信を褒めることは、子どもにとって嬉しいだけでなく、自己肯定感を高めることにもつながります。

●褒めるときは、具体的に褒めることで、子どもが安心して行動できるようになります。



●子どもが安心して行動できるようになることは、親子関係の改善につながります。

子ども虐待予防をめざした子育て支援

●子ども虐待予防には子への支援とともに親支援も必要 :親に必要なこと

・個別支援

気持ちや状況をわかってもらえる・話せる・相談できる

・グループ支援

サポートし合う仲間づくり

悩んでいるのは私一人じゃない(普遍性)

いろいろ話せてわかってもらえてスッキリした(カタルシス)

子育ての経験や悩みを共有して、自分にできそうなやり方・考え方を取り入れる

モデル学習

●いろいろな支援に親が気軽にアクセスできるように！

「ハッピーペアレントサロン石川の活動等について」

発表：ハッピーペアレントサロン石川
助産師 あねざき しょうこ 氏

金沢市子どもソーシャル ワーカーについて

金沢市福祉局こども未来部子育て支援課

三瀬 まりの

子どもソーシャルワーカー

○金沢市子育て支援課 児童家庭相談室に配置

令和元年7月に新設:2名配置、令和2年7月に2名増員

○目的

経済的事情や生活事情等により、困難さを抱えている子どもや家庭を早期に発見し、必要な支援につなぐ

→子どもの貧困対策として配置

「相対的貧困率」・・・所得中央値の一定割合(50%が一般的。いわゆる「貧困線」)を下回る所得しか得ていない者の割合。

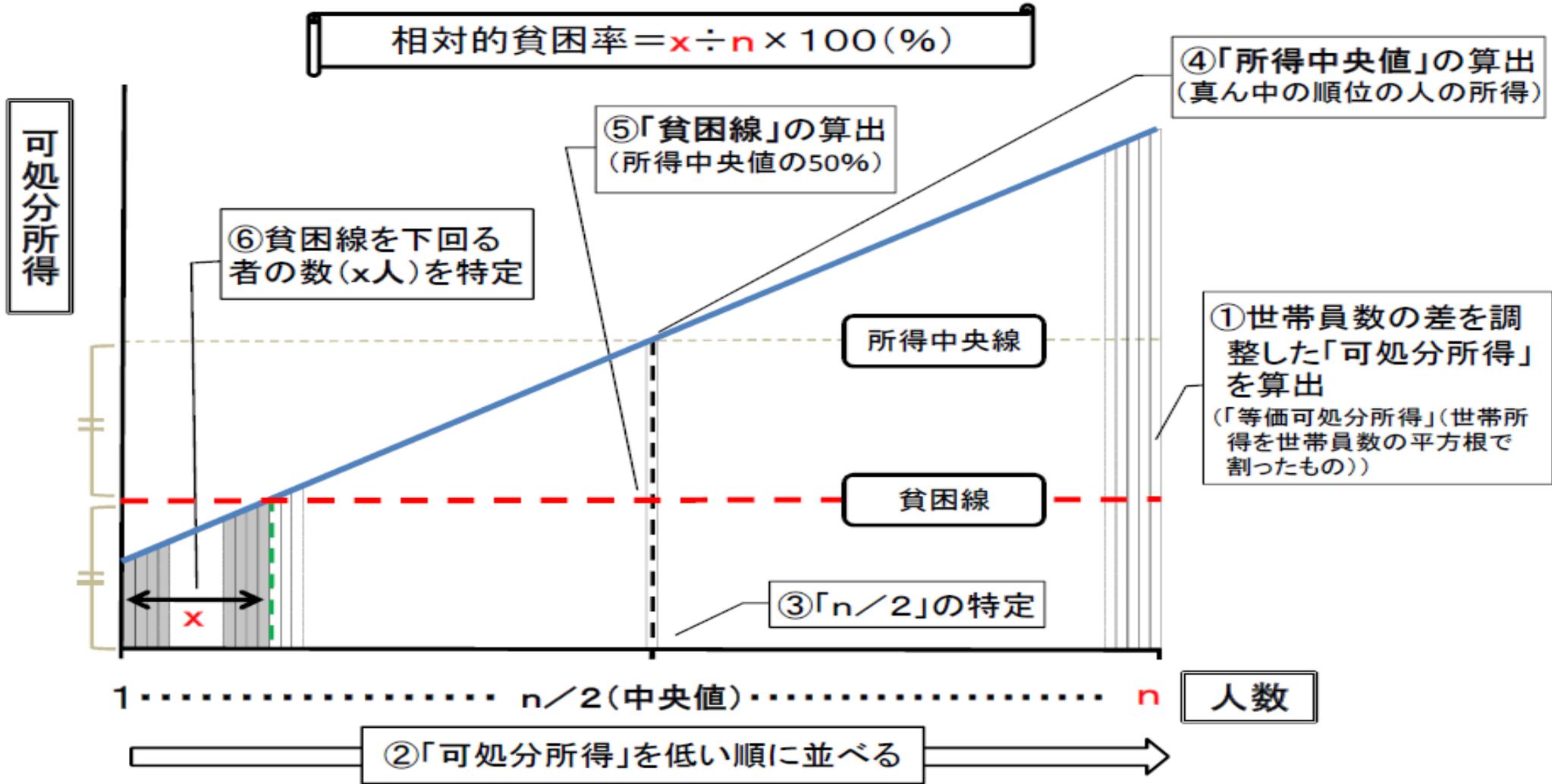
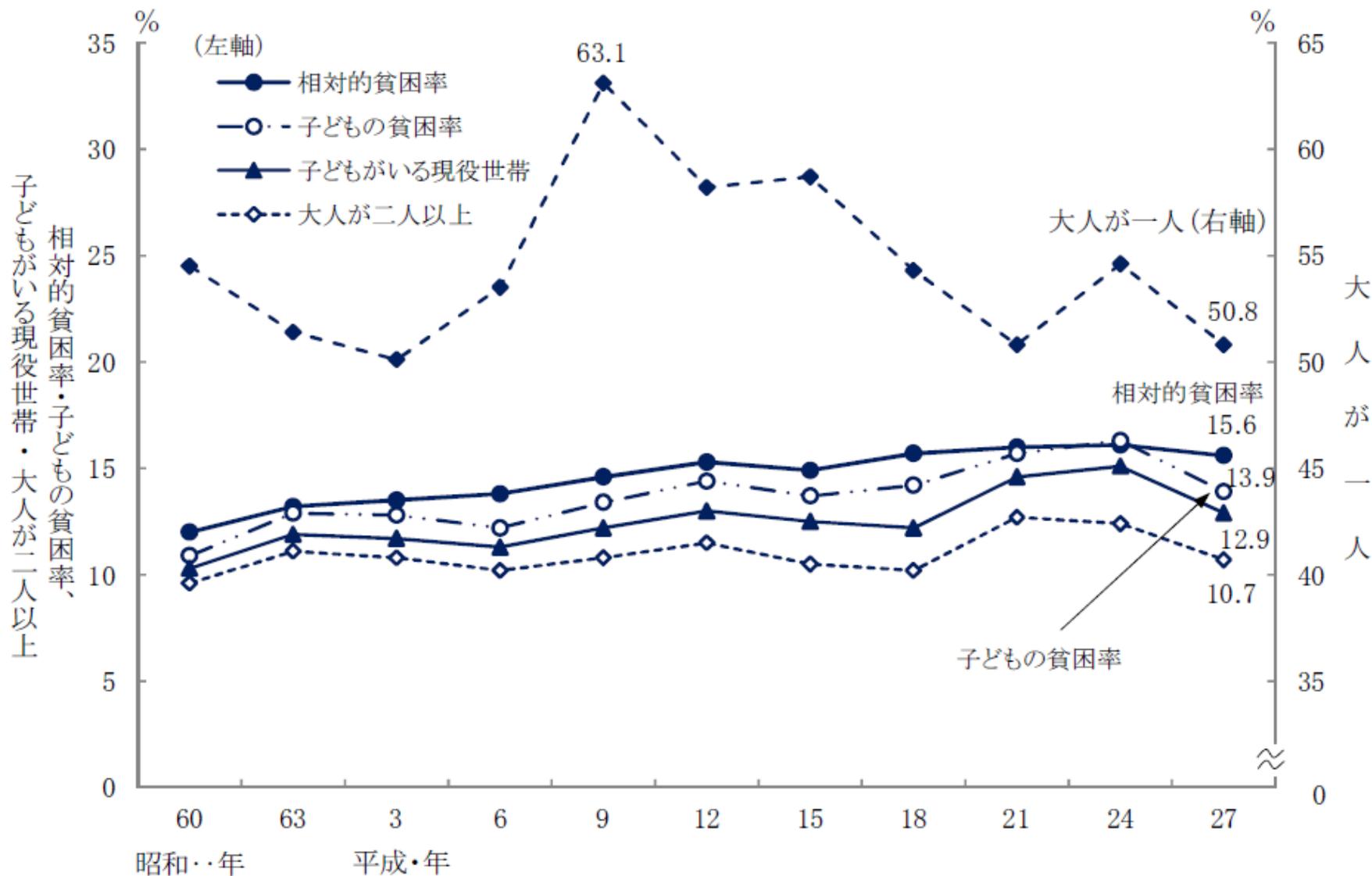


図 15 貧困率の年次推移



貧困線=122万円
(1人世帯)

・相対的貧困率

15.6%

・子どもの
貧困率

13.9%

約7人に1人

配置の背景

○平成25年6月成立(令和元年6月改正)

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」

→子どもの将来および現在についても貧困対策を推進すること

→子どもの貧困の背景に様々な社会的要因があることを踏まえること

○平成26年8月「子どもの貧困に関する大綱」閣議決定

令和元年11月 新たな大綱 閣議決定

→子どもの貧困に関する指標(39)

→子どものライフステージに応じた切れ目ない支援、
支援が届かない・届きにくい家庭への配慮

配置の背景

○金沢市子どもの貧困対策基本計画（平成31年2月策定）

＜施策の方向性＞

1. 子どもの育ちを支える生活支援
2. 子どもの学びを支える教育支援
3. 生活基盤の安定を図るための保護者への支援
4. 地域から切れ目なくつながる重層的な支援体制の構築
5. 施策・制度の周知及び子どもの貧困に関する意識啓発

子どもソーシャルワーカーの活動内容

- 経済的事情や生活事情などにより、様々な困難を抱える児童・保護者への訪問による相談・支援
- 教育機関、福祉機関、地域等への訪問による相談
- 地域の関係機関との会議開催等のネットワークづくり



民生委員・児童委員、 主任児童委員との協力・連携について

子育て世代の保護者にとって、

地域の身近な相談相手



困りごとのある保護者が、どのような支援を受けられそうか、一緒に考えます。

ご連絡の際は……

金沢市児童家庭相談室

076-220-2422

(金沢市子育て支援課内)

ご清聴ありがとうございました

